

# 花づな

hanazuna 2017.1

vol.  
40

## [花づな]

四季折々に咲き競う花々は、精いっぱい自分を自分らしく表現しているように見えます。男女が明るい未来に向かって手をつなぎ合うことを「花づな」の名に託しています。



特集



## ものづくりの 現場で活躍する 女性たち



知県や三河地方は、昔からものづくりが盛んな地域。以前は男性中心だった職場においても、多くの女性が活動の場を広げています。今回は、ものづくりの第一線で働く女性たちの声をお届けします。

# 活躍の場は新たな世界へ ものづくり女子の 本音トーク

自分たちの仕事がひとつの製品となり、世の中に出て役に立っていく。

努力や苦労がカタチとなってあらわれるのは、ものづくりの醍醐味です。新しい視点を持ち、柔軟な感性を発揮してものづくりの現場で活躍する女性たちと出会ってきました。

## 【プロフィール】

山佐染工所には女性職人さんが三人。入社10年目のベテランで中学生のお子さんがいる横田さん(右)。石井さん(左)は入社7年目、最近は仕事に対して積極的に発言できるようになったとか。8月に入社したばかりの新人・桑原さん(中)を囲んで、「工場内には乾燥場もありますが、やっぱり晴れた日の天日干しが最高です!」

## ● 有限会社山佐染工所

石井佳依さん(左) 桑原志歩さん(中) 横田知佐子さん(右)

# 「伝統の技を絶やさないように、 これからもずっとこの仕事に携わっていきたい」

3人は、大正時代に創業した染物店で、染物職人として働いています。染めるのは手筒花火を打ち上げる際に着る刺子袴天が中心です。厚手の刺子なので、綿素材でも花火の火の粉をかぶっても燃えにくく丈夫です。その他、前掛けや暖簾、幟や旗など、注文に応じて布を染めています。

### ① お仕事を選んだきっかけや、やりがい

### ② お仕事の内容など

**石井①** 小さなときから花火を見たり、お祭りの雰囲気が好きで、祭りの現場に携われたらいいなと思っていました。お祭りの雑踏の中で、苦労して染めた袴天を着ている人を見つけた時はうれしいです。自分が担当した袴天は、遠くからでもすぐ分かるんですよ。

**石井②** 糊付け、染色、乾燥などさまざまな工程がありますが、分業ではなく、どの作業もできるように指導を受けています。色づけさせてもらえるようになるまで、三年ほどかかりました。最初の頃はうまくいなくて、作業するのが怖い時期もありました。でも、人任せでは仕事のコツもつかめないままです。繰り返し自分でやるということが大切なんだと分かってきました。特殊な色は調合して作るのですが、イメージ通りの色を出すのがむずかしいんです。どんな色でも染められるようになりたいです。



**桑原①** 「迷ったらとりあえずやってみる」性格なので、この世界に飛び込んでみました。

**桑原②** 先輩に教えてもらいながら、糊の付いた生地を洗い落とす作業をやっています。やっとコツがつかめてきました。長年やってきた伝統の技を絶やさないように、これからもずっとこの仕事に携わっていきたいです。

**横田①** 裏方の世界で楽しそうな職場だと思いました。きれいに染めあがって、裁断室でほめてもらった時の達成感はこたえられないですね。

**横田②** 糊付けしたものが欠けてないか、折れてないかチェックするのも大切な仕事。確実に仕上がりが変わってきます。染物は、夏と冬、気温や湿度によって微妙に発色が変わってきますので、根気のある作業です。



### 【とっておきの話】

注文生産が主体の山佐染工所ですが、刺子のネクタイ、エプロン、バッグやポーチなど、製品として気軽に買えるものもあります。穂の国とよはし芸術劇場プラットや二川宿の駒屋で販売しています。





●東海漬物株式会社  
漬物機能研究所  
要素技術開発グループ主任  
森下美香さん

【プロフィール】

岩手県出身、静岡の大学（農学部）で博士号を取得し、東海漬物に入社して11年目。グループ主任として、日々漬物についての研究をしています。昨年夏に結婚しましたが、研究が佳境に入ってくると研究所に泊まりこむこともあるそうです。

「漬物の研究は男女の差がない職場」

◆失敗しても次につながる

人の腸内環境を整える乳酸菌、胃腸の消化液に耐えうる乳酸菌を探す試みなどを行っています。年間を通して複数のテーマを決め、成果をあげるため日々努力を重ねています。研究を続けて良い結果が出るとうれしいのですが、毎回成果が出るわけではありません。失敗しても、今後どのように研究へつなげるか、いつも考えています。また失敗から思わぬ成果が出ることもあります。



◆漬物の研究を仕事にした理由

実家では母がいつも漬物を漬けていて、べったら漬け、糠漬け、浅漬け、梅干しと、食卓には何種類かの漬物が並んでいるのが普通でした。ご近所から大量の野菜をいただくことが多いので、漬物にしないと消費できないということもありま

すが(笑)。近所には漬物名人といわれるような方がいて、味の秘訣を教えてもらったり。そんな環境からこの仕事を選んだのかもしれない。

◆ママになっても研究を続けたい

私の部署の研究者は5人中3人が女性で、すでに男女の性差はありません。地道な作業を繰り返すということは、女性の方が向いていると感じることがあります。子どもが生まれても仕事は続けていきたいです。同じ研究所勤務でお子さんのいる方に、色々相談をしています。産休・育休はとりやすいのですが、会社としてはまだ前例が少ないので、自分がロールモデルとなっていければと思っています。



【とっておきの話】

きゅうりのキューちゃんとは50年以上続くヒット商品ですが、実は3、4年に一度、マイナーチェンジをしているのだとか。近年の減塩指図を受けて塩分をかなりカットしたり、醤油の風味を際立たせる工夫がされています。あなたは気づいた？

●武蔵精密工業株式会社  
成型技術部 成型開発課 伊藤康予さん

【プロフィール】

自動車部品メーカーに入社して10年目。自動車の車体とタイヤを連結する部品等を中心に、CAD（キャド）というソフトを使って設計に取り組んでいます。「休日はヨガで汗を流し、リフレッシュに努めています」と話す活動的な女性です。

「自分の設計図から製品となる瞬間に喜びを感じる」



◆自由にやらせてくれる職場

自動車を支えるさまざまな部品を、豊橋をはじめ世界30拠点の工場で一貫生産しています。自動車部品の金型の設計を担当していますが、部品の軽量化やコスト削減を常に頭に入れて設計しています。自分で書いた設計図が実際に完成品となっていく過程に、やりがいを感じますね。もともとCADのオペレーターとして派遣社員で入ったのですが、職場の雰囲気がとても良かったので、中途試験を受けて正社員になりました。



やりたいと手をあげたら自由にやらせてくれる社風も良かったです。若い女性にも、ものづくりの現場へ飛び込んでほしいです。

◆女性と男性の違い

女性はどうしても非力なので、重い金型を棚から降ろせないことはよくあります。無理してやって怪我をしてもいけないので、そう

いう時はわりきって男性に手伝ってもらっています。一方、女性は細かいことによく気がつき、根回しやフォローがさりげなくできる人が多いのが長所だと思います。仕事上の悩みは、違う部署の女性社員に相談したりしています。それぞれの部署で頑張っている女性と話をすることで、良い影響を受けていると思います。

◆感性を磨いていきたい

将来的にはお客様の注文に応えられ、売れる部品を作れるようになりたい。そのために技能検定を受けたり、資格を取るための勉強に取り組んでいます。取得した資格を仕事に生かせるようになりたいですね。また美術館に出かけるのが好きなので、これからも美しいものを見て感性を磨いていけたらと思っています。



【とっておきの話】

四輪車の世界ではハイブリッド、EV、燃料電池など新しい世代の機構を持つ車が登場し、これまでと異なる新たな技術が求められています。それに伴い、鉄からアルミなど、部品の軽量化も追求されています。クルマの未来から目が離せません。

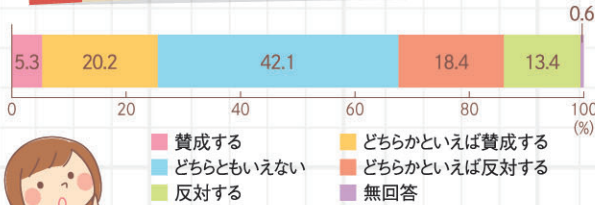
結果ができました!

## 男女共同参画に関する市民意識調査

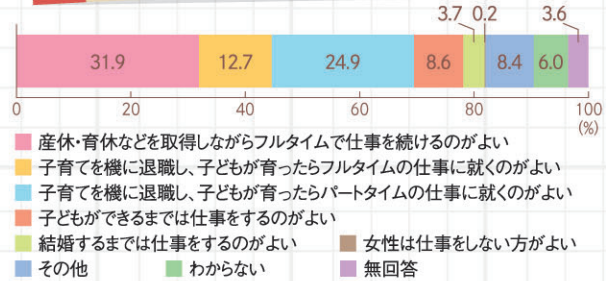


豊橋市では、豊橋市男女共同参画推進条例や行動計画を策定し、「男女共同参画社会」の実現をめざして、さまざまな取り組みを行っています。平成28年8月には、豊橋市内在住で20歳以上の方3,000人を無作為に抽出し、男女共同参画に関するアンケートを実施しました。アンケート結果の中から、今回の花づな特集に関連する項目を抜粋してご紹介します。

**Q 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。**



**Q 女性が仕事をする事について、どのように思いますか。**



東三河では固定的な性別役割分担意識が根強いといわれてきましたが、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「反対+どちらかといえば反対」が「賛成+どちらかといえば賛成」を上回っています。また、子どもができて仕事も続ける方がよいという考え方が増加傾向にあり、少しずつですが意識の変化が見られます。

### メイカーズ・ラボ

#### デジタル刺繍ミシンを使ったアクセサリ講座

最終回



ものづくりによる起業を支援しているメイカーズ・ラボ。今回はデジタル刺繍ミシンを使ってアクセサリの作成講座を開催します。講座を通じてデジタル刺繍ミシンや刺繍用ソフトウェアの使い方を学べば、初めてでも大丈夫。複雑な刺繍も簡単にできるように!

講師 ● 大羽弘志さん(株式会社大羽ミシン)

とき ● 平成29年2月18日(土) 午後1時~3時

ところ ● メイカーズ・ラボとよはし

対象 ● 刺繍ミシンに興味がある方、簡単に刺繍したい方

定員 ● 5名

受講料 ● 1,000円

申し込み ● 事前にメイカーズ・ラボとよはしのHP

(<http://www.tsc.co.jp/makerslab>)より申し込み

☎0532-44-1111

### インフォメーション

募集中

#### 講座① 「美しく健康に! 女性のための健康講座」

子宮のセルフケアの話やヨガを通じて心身ともにリフレッシュを目指します。

講師 ● サリ Sariさん(ヨガインストラクター)

日時 ● ①2月7日(火)②2月11日(土・祝) 午前10時~11時30分  
※①②のうち希望日を選択

対象 ● 女性

定員 ● 各日15名(抽選)

受講料 ● 無料

託児 ● 6か月~未就学児、予約制で1人200円必要

申し込み ● 1月27日(金)までに市役所市民協働推進課

☎0532-51-2188

お申込みQRコード



#### 講座② 「モラルハラスメント防止講座

#### ~夫婦間を中心に 対策・対処・対応について~

全2回

モラルハラスメントとは何か? 具体例を取り上げながら紹介し、対処方法を学びます。

講師 ● 増井さとみさん(フェミニストカウンセラー)

日時 ● 2月14日(火)、28日(火) 午前10時~正午

対象 ● 女性

定員 ● 30名(抽選)

受講料 ● 無料

託児 ● 6か月~未就学児、予約制で1人300円必要

申し込み ● 2月3日(金)までに市役所市民協働推進課

☎0532-51-2188

お申込みQRコード



ところ ● 講座①②とも男女共同参画センター「バルモ」(神野ふ頭町ライフポートとよはし内)で開催します。



男女共同参画社会を目指す情報紙 花づなvol.40  
発行年月/平成29年1月  
発行・編集/〒440-8501 豊橋市文化市民部 市民協働推進課

[ご意見・ご感想をお待ちしています]  
電話 0532-51-2188 ファクス 0532-56-5128  
E-mail [shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp](mailto:shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp)